

「天草産地域資源を活用した機能性表示食品開発」

(概要)

天草地域で栽培されているモリンガを利用した機能性表示食品を2019年10月より販売開始した。この商品は産・学・官連携共同研究の成果によるもので、モリンガを主原料とした機能性表示食品としても全国で初めてである。モリンガは北インド地方原産のワサビノキ科の植物であり、モリンガの葉には、90種類以上の食品成分が含まれており、食糧が十分に確保できない地域の栄養源として活用されている。また2007年には世界食糧計画に採用され、スーパーフードとして注目されている。

(企業発表者) 天草モリンガファーム(株式会社アマサ) 代表取締役 四方田 徹

(公設試発表者) 熊本県産業技術センター 食品加工技術室 研究参事 佐藤 崇雄

1. 成果品(製品)紹介

天草モリンガファーム、崇城大学及び熊本県産業技術センターの共同研究により開発した「機能性表示食品 モリンガ GABA(パウダー)」は熊本県産モリンガを100%使用したサプリメントである。モリンガはアミノ酸の1つであるGABA(γ-アミノ酪酸)を多く含有し、主に抑制性の神経伝達物質として血圧の降下作用やストレス緩和などの機能していることが明らかになっている。



2. 開発背景(テーマとの出会い、人との出会い等)、苦労話など

平成20年10月に四方田社長が熊本県産業技術センターに「モリンガを栽培したが、加工や商品開発などについて相談したい」とのことで来所された。当時の「モリンガ」は認知度ゼロと言っても過言では無いくらいの植物であったが、その後試験研究を進めていき有効性や付加価値等が明らかになっていた。モリンガパウダーに乳酸菌を添加した商品やモリンガ茶などをリリースし、認知度を上げていった。2015年(平成27年)4月1日に特定保健用食品(トクホ)や栄養機能食品とは異なる、新しい食品の表示制度「機能性表示食品」制度が施行されたのを機に、崇城大学を加え産学官連携体制をスタートさせ「モリンガ」を「機能性表示食品」として商品化する試験研究開発が開始され、令和元年10月に「機能性表示食品 モリンガ GABA(パウダー)」をリリースした。

3. 製品化までのプロセス、体制など

本取り組みは天草モリンガファーム、崇城大学及び熊本県産業技術センターの産学官共同研究を軸に熊本県や上天草市など地方自治体の様々な支援を受けながら約3年かけて開発したものである。商品が天然物であるため、「機能性表示食品」の核となる関与成分の確認を頻繁に行う必要があるが、成分分析やその他、品質管理技術のサポート体制なども構築し、高品質の商品販売を行っている。

4. 製品化、販売に成功したポイント

本商品を発売する前に右に示す天草モリンガファームにしかできない商品開発を行いネット通販などを通じ一定数のリピーターを獲得していたため、「機能性表示食品 モリンガ GABA（パウダー）」を販売開始した際も注目を集める事が可能となった。また、各種展示会などにも積極的に出展し「モリンガ」の認知度向上に務めた。機能性表示食品の申請は中小企業にと



っては技術的にも金銭的にもハードルは高いが、天草モリンガファームの四方田社長の熊本で熊本産の原料を使った機能性表示食品を開発するという強い意志がなければ実現不可能であったと感じている。

5. 今後の展開、波及効果など

「モリンガ」の認知度が向上し取扱量は増加している。地域の休耕地などを活用し作付け面積を大きくすることにより、放棄農地が減少し地域の雇用創出についても期待できる。



発表者紹介（企業）

天草モリンガファーム（株式会社アマーサ）
代表取締役 四方田 徹

モリンガを全国の皆様の健康に役立てよう！この一心で天草で本格的に栽培・販売を手がけてきました。今後もさらなる研究を重ね、皆様の健康に寄り添える食品をお客様の元に届けられるように日々精進します。

発表者紹介（公設試）

熊本県産業技術センター
研究参事 佐藤 崇雄

モリンガとは何か？から初めて約12年になりますが、まだまだ未解明な部分もたくさんありますの引き続き試験研究を継続して、地場産業の活カアップに貢献できればと考えております。

企業情報

- 名称：天草モリンガファーム（株式会社アマーサ）
- 所在地：〒869-3603 熊本県上天草市大矢野町中 4434-2
- TEL：0964-59-5200 ■FAX：0964-59-1030 ■URL：<https://amakusa-moringa.com/>
- 主力商品
 - ・機能性表示食品 モリンガ GABA（パウダー）
 - ・バージンモリンガプレミアム
 - ・モリンガサプリ乳酸菌プラス
 - ・【緑のラベル】モリンガサプリ